

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-4-2		事業名	交通結節点改善事業
担当	建設局土木部道路課 小林（TEL211-2617）			
全体計画（当初）				
事業内容	JR白石駅周辺地区において、鉄道により分断されている市街地の一体化を図るとともに、交通結節点へのアクセスの向上や公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上を図り、交通結節点周辺における施設整備を一体的に行うものである。 ・自由通路の新設、各施設のバリアフリー化 ・橋上駅舎及び北口駅前広場整備 ・交通容量の増大に対応した南口駅前広場の拡張再整備 ・北口駅前広場へアクセスする白石駅北通の整備		<年度別の事業内容>	
			H17年度 実施設計、用地補償 H18年度 実施設計、用地補償、支障物件移設	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
			JR白石駅周辺地区整備事業に係わる調査等の委託、実施設計、用地補償の実施	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	JR白石駅周辺地区整備事業に係わる用地補償の実施、支障物件の移設、施設デザインの検討		平成18年度までに、実施設計、用地補償、支障物件移設が予定通り進んでいる。 今後整備事業を進め、白石駅利用者の7割を占める北側からのアクセス性の向上、南北駅前広場整備による地域の一体化・活性化、公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上などを図る。	
		課題		
		地域活動や利用者の利便性に配慮した自由通路・駅前広場の管理・活用ルールや施設デザインの検討		
19年度以降の方向性・事業の予定				
H19年度 用地補償、支障物件移設、自由通路整備工事、白石駅北通整備工事 H20年度 用地補償、支障物件移設、自由通路整備工事 H21年度 支障物件移設、自由通路整備工事、南北駅前広場整備 H22年度 用地補償、支障物件移設、自由通路整備工事、南北駅前広場整備				

